

令和 6 年度第 3 回日野市指定管理者候補者選定委員会 議事録

1 概要

日 時	令和 6 年 8 月 19 日（月） 14 時 00 分から 17 時 00 分まで
場 所	日野市役所本庁舎 4 階 庁議室
出 席	【委員】青木委員長（産業スポーツ部長）、赤久保副委員長（企画部長）、竹村委員（総務部長）、佐々木委員（文化スポーツ課） 【応募事業者】株式会社フクシエンタープライズ、B 社
事 務 局	（文化スポーツ課）室瀬課長補佐、田邊主事 （企画経営課）松井主幹、永尾
傍 聴 者	なし
議 事	● 委員長・副委員長の選任 ● 南平体育館指定管理者の選定について ➤ 株式会社フクシエンタープライズ ➤ B 社
記 録 作 成	（企画経営課）永尾
配 布 資 料	応募書類一式、採点表等審査資料一式

2 要点録

（1）委員長・副委員長の選任

○ 事務局

委員長は日野市指定管理者候補者選定委員会設置要綱に基づき主管部長である産業スポーツ部長とした。

副委員長は互選により、企画部長とした。

（2）南平体育館指定管理者の選定について

① 施設概要説明

○ 施設所管課(文化スポーツ課)

施設の概要及び運営方針等について説明。

■ 委員

（質疑なし）

② プレゼンテーション及び質疑応答（株式会社フクシエンタープライズ）

<株式会社フクシエンタープライズ入室>

◇ 株式会社フクシエンタープライズ

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■ 委員

事業計画書に記載があるが、清掃部分の再委託先の配置は午前のみとなっている。午後夜間は清掃しないのか。

◇ 株式会社フクシエンタープライズ

専門事業者に再委託をして行う時間は、原則的に午前中のみと考えている。11 時半以降は清掃員の体制がないことにはなっているが、突発的な汚れなどの対応については、弊社職員の方で実施をする。

■ 委員

予約システムにおける団体利用の申込期間を 3 日前までにして、個人利用に切り替えたい、ということの提案がある。この提案に当たって、その可否について市に調整、質問はしているか。

◇ 株式会社フクシエンタープライズ

現受託事業者としても、この内容は下話等はしていない。3 年前に体育館のリニューアルオープンに受託して、南平体育館の運用を進める際に、当時の文化スポーツ課担当者様とまずは日野市内にある類似施設、ふれあいホール等と足並みをそろえて実施をしていこう、という話になった。

これを受けて運用してきたが、今回のご提案の経緯だが、現状団体利用のギリギリまで予約を受け付けているところ、実際に現場としてはギリギリから個人開放に切り替えることが難しいと感じている。

協議が可能であれば、個人開放の方がニーズがあると考えているところ。

■ 委員

ラウンジに設置する自販機を敢えてコーヒー専用にする理由としては何か。

◇ 株式会社フクシエンタープライズ

まず、現場として、ラウンジのニーズが非常に高いと感じている。

南平体育館の基本計画等の段階から市民の方の声として、カフェという声もあった。ミニキッチンということに落ち着いたが、終わった後にラウンジでちょっとコーヒーを飲みたい、という声が多くあった。

あの場所は子どもたちも利用するが、勉強している人、テレワークしている人もいるため子どもたちもうるさくしてはいけない、という意識があって、エントランスのところでくつろいでいる印象がある。

そのため、コーヒー専用機ということでご提案させていただいた。もちろん、ベンダーと協議の上、一般的な自販機に切り替えることも可能。

■ 委員

収入計画について、令和 7 年度の施設の利用料金が 2580 万円ほどと示されているが、令和 5 年度決算見込額を踏まえ 2790 万円ほどと募集要項では示しているところ、それと比べると 200 万円は

ど減収としている見込みの理由は。

◇ 株式会社フクシエンタープライズ

後程確認したい。

■ 委員

年間 20 万人の利用に向けて令和 11 年には目標を達成したいという見込みを建てていらっしゃる。需要を掘り起こすために、どのような対応を考えているか。

◇ 株式会社フクシエンタープライズ

利用底辺の拡大ということを考えている。

例えばアリーナに来て、卓球やバドミントンができますよ、という枠だけを設けていても、利用者の立場からは始めて来る方にとってハードルが高い。そうしたハードルを楽な形にしていきたいと思っている。

もう一つは、広報、プロモーションの面。コロナが明けて、スポーツ、健康づくりに対する関心が高まっていると感じている。利用、施設に関する問合せが増えている。そこで南平体育館が新しくなったことに今気づく方も 3 年目にしてまだある。

一般的なホームページや SNS などの活用は当然として、高齢者や新しく使う人への有効なプロモーションとしては、地域と根付いた発信として、地区センター等を使ったダイレクトな情報発信を考えている。

委託事業として体育館を使ったスポーツイベントをしてきたが、なかなか委託事業者という建付けとしては限界があった。指定管理者としてはいろいろなやり方が可能と考えている。

スポーツ以外の分野の方をまきこみ、イベントを充実させていくことですそ野を広げていきたい。

■ 委員

先ほどもお話があったが、令和 3 年度から障害者差別解消の取組についての義務化が始まった。ハード面ソフト面からの取組をご紹介いただきたい。

◇ 株式会社フクシエンタープライズ

南平体育館はバリアフリーアリーナということで、障害者の方が使いやすい施設づくりを進めてきた。実際、車いすの方、難聴の方などの利用者が日常的にいる。そのため、その対応も日常的にしているところ。

椅子の位置、モノの配置、案内サインなど、一つ一つアドバイスをいただきながら 3 年間かけて積み上げてきた。

■ 委員

南平体育館は浸水想定区域かと思う。今回のような台風での対応の仕方、ルールのようなものがあれば具体的に教えていただきたい。また、力を入れていきたい部分は。

◇ 株式会社フクシエンタープライズ

計画的に、事前のレイアウトや職員体制等、担当課様と協議の上策定をしていきたいと考えている。

南平体育館は施設自体は室内だが、利用者様の来館のうえでの安全性、従業員の安全確保、という観

点がある。大事なのは早期判断だと思っている。早ければ早いに越したことはないと考えており、直撃レベルの台風であれば2、3日前から休館などの対応を判断していく。

■ 委員

南平体育館の地域には高い建物がない。

近所の方が逃げてくる可能性があると思うが、そういった近隣の方との関係性、受入れについてはどう考えるか。

◇ 株式会社フクシエンタープライズ

実際、どのくらい避難されてくるかというのは経験してみないとわからない部分があるが、弊社では近隣で多摩市では総合体育館の指定管理者を長らく務めている。台風19号のときは指定避難所ではなかったが、多摩市の指示で急遽開設したことがあった。結果、想定以上の凄まじい人数が避難されてきて、元々避難所としての機能がなかったこともあり、対応に苦慮をした。

行政、地域の自主管理組織等との連携が対応については必要で、指定管理者だけで進めても意味がないと感じている。所管課、地域と連携した中で、鍵は、電気は、などの初歩的な段取りを予め定めたい。

指定管理者として一歩前に立って取り組んでいきたい。

<株式会社フクシエンタープライズ退室>

③ プレゼンテーション及び質疑応答（B社）

<B社入室>

◇ B社

提案内容についてプレゼンテーション、説明。

■ 委員

南平体育館は初めての指定管理の導入。管理基準書の中に仕様上漏れがあるかもしれない。その中に、指定管理者に行っていただくべき対応が出てくる可能性がある。そうした案件が出来た際にはどのようなご対応をしていただけるか。

◇ B社

都度状況、内容に応じて、協議させていただきながら我々としてできる部分は最大限協力していきたい。費用的な部分も発生することもあるが、運用提案の収支の工夫で呑み込める部分は呑み込み、費用がそれ以上に発生する部分については協議の上対応していきたい。

■ 委員

危機管理責任者として統括副責任者がいる記載があるが、組織体制・人員体制のなかでは統括責任者、統括副責任者という言葉が出てこない。どなたがどのような対応をされるのか。

◇ B社

現地の管理運営責任者が統括副責任者となって、危機管理責任者を兼務する。本部支店の組織が統括する責任者となる。

■ 委員

収支計画のなかで、自販機の販売手数料がR7に上がって、R8から落ち込む計算になっている。これは何か想定されていることがあるか。

◇ B社

記載ミス。R7が84.6万円となっているところ、76.9万円が正しい本来の数値となる。

■ 委員

R5の売上見込では、募集要項では96万円で提示している。下がっている理由は。

◇ B社

設置状況から試算をさせていただいた結果。指定管理に入ってくる料率等から算出されたもので、契約内容が変わることからと思われる。

■ 委員

本社経費が、施設の管理運営に使われることは全くない、ということか。

◇ B社

本社から現場に運営を支援する側面もあるので、現地の管理運営に関わりがないもの、というわけではない。例えば、経理等を包括的に管理するシステムを組んでいるので、そのシステム利用料、本社拠点建物等の経費の一定比率を計上している。

■ 委員

ごみ処理について、ごみの収集運搬をどのような形でされることを想定しているか。

◇ B社

パートナー企業に再委託をして処理をしていただくことを想定している。

■ 委員

8つの事業方針を立てていただいている。様々ないただいているが、これを実現できるか、という視点ではどうか。こうしたら実現できる、というような筋道があれば。

◇ B社

個別の工夫が必要。

方針①では、市全体のスポーツ実施率があげられている。これを1事業者だけで実現することは難しい。ただ、南平体育館を起点に、市内の各拠点に対して市内のスポーツ活動の広がり設ける、という取組をしていきたい。イオン等と連携していきながら市全体にスポーツ・健康に触れられるきっかけづくりをしていきたい。普段の生活の中にスポーツが関わられるような手助けをしていきたい。また、皆様の活動に紐づいて達成していくところもある。体育館を中心に、市内全域にスポーツへのきっかけづくりをしていきたい。

方針⑥では、募集要項上では指定管理料の上限を設定されていたが、市の指定管理料を市が負担する計画となっているので、計画時点では達成しているともいえるもの。これに加えて、想定以上の収益が出た場合は更なる還元し、より高みを目指すことも可能と考えている。

■ 委員

障害者の対応として、特に事業者としてこういったことに障害者に対しての支援の力を入れている、ということがあればご紹介いただきたい。

◇ B 社

障害者に対しては、様々なツールや知識を使うことを受付、接客の研修に盛り込んでいる。

提供する事業についても、インクルーシブ活動を進めていく、ということなどを考えている。

パラスポーツ、パラオリンピックの選手を招致したイベントを実施したり、障害をお持ちの方もそうでない方も楽しめるような事業を企画し、周知していきたい。

雇用の面でも、障害者の方を雇用する、ということを経営者としても積極的に取り組んでいる。事業者側についても受入れができる体制をサポートしている。

市内の福祉事業者との協力、連携についても実施していきたい。子ども食堂への取組などもさせていただいているので、そうした事業の拡大の場としても考えていきたい。

■ 委員

収支計画を見て、利用料金制なので収入を増やしていくということもあろうかと思う。施設の利用は閑散期、繁忙期などがあるが、ご提案は施設使用料自体は変えずに、努力で延ばしていこうということか。

◇ B 社

利用料の変更は考えていない。その中で、利用者を増やす、施設に来てもらう工夫によって利用率を延ばしていきたい。

■ 委員

災害時の対応として、例えば今回は台風対応ではどのような対応を取られたか。

◇ B 社

担当課と相談していたが、ふれあいホールについては教室事業を中止した。それ以外の一般利用については、お客様の判断に任せるということで開館自体は行った。スタッフの通勤体制が取れることを前提に、なるべく開館を維持する、という対応をさせていただいた。

一方、市民プールの方については、屋外ということ、川沿いということもあって、そちらは前日のうちに休場を決定し、周知をした。

南平体育館も同様に、状況に鑑みながら主管課と相談しながら決定をしていきたい。

■ 委員

利用率向上に向けた PR として、イオン多摩平の森と協働した PR を触れられている。具体的にはどのような取組が可能と考えているか。

◇ B 社

イオンモールのなかでも催事が様々されている。そこでスポーツに関わるコンテンツを展開させていただき、併せて南平体育館を知っていただく。健康測定の体験、スポーツへの誘導や、発展的にはイオンモールから南平体育館へのウォーキングイベントなど、活動を広く広げていきたい。

<B 社退室>

④ 主管課質疑応答

■ 委員

同種の過去の施設管理運営実績はある、ということで良いか。

○ 施設所管課

各社さん相当数実績がある。

■ 委員

B 社は共同事業体の構成はふれあいホールと同じか。

○ 施設所管課

異なる。今回の共同事業体の組み合わせは初めて。

■ 委員

B 社の事務所は市内事業所か。

○ 施設所管課

本店そのものは都心、市内に支店がある。

■ 委員

指定管理として、管理だけでなく、住民サービスの向上に向けた取組もある。絵に描いたモチにならないようにしないといけないが、どちらの方がより適切に実現されそうか。

○ 施設所管課

どちらも競争の中で、結果に従って決めていきたい。

■ 委員

様々見聞きするうちに、施設ごとに競い合いや違いがあってもいいのかなと感じている。

■ 委員

ふれあいホールはどのような経過か。

○ 施設所管課

平成 24 年度から開設。2 年間は委託を他社が受けている。

平成 26～30 年度の指定管理がエスフォルタ社。令和元年度から現事業者の共同事業体。

■ 委員

屋外プールを受託しているのは珍しいのでは。

○ 施設所管課

元々プールや温浴施設の管理を当初やっていた事業者という印象はある。

⑤ 意見交換

■ 委員

特になし

⑥ 採点

■ 委員長

採点、提出いただき次第終了。

(閉会)